

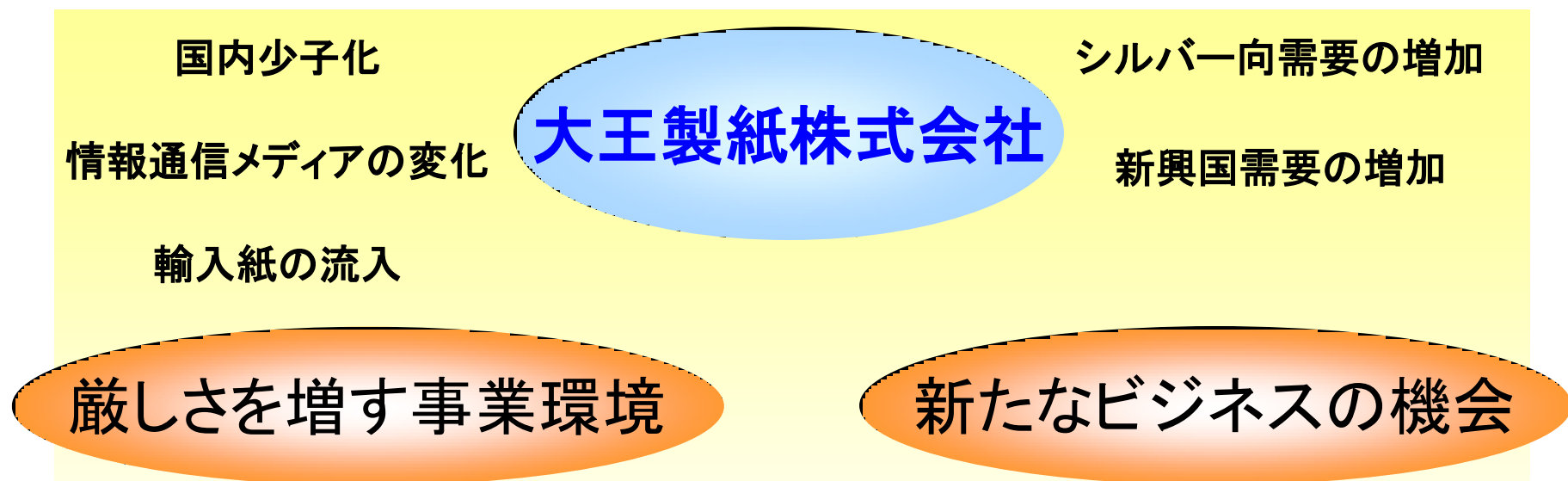
平成24年3月29日(木)

今後の事業計画の骨子

Restart ~ 確かな変革、更なる成長

大王製紙株式会社
代表取締役社長 佐光 正義

当社を取り巻く経営環境



持続的な企業価値向上に向けた
今後の事業計画の策定



今後の事業計画の骨子

目指すべき姿

Restart ~ 確かな変革、更なる成長

三本柱

経営基盤の再構築

- 徹底したコスト低減による洋紙事業の収益力向上
- 生産・開発体制の見直し
- 組織改革による省力化
- 財務体質の改善

国内成長戦略

- 段ボール事業の強化
(福島県いわき市にマシン新設)
- H&PC事業の強化
(静岡県南陵新工場の建設)

海外成長戦略

- H&PC海外生産拡大
(タイ)
- H&PC商品の輸出拡大
- 段ボール事業の展開

土台

ガバナンス体制の強化

経営基盤の再構築

経営基盤の 再構築

徹底したコスト低減による洋紙事業の収益力向上

- 原材料調達のアジアへのシフト
- 塗工紙生産設備の改造
- 主力臨海工場(三島)でのクラフトパルプ増産

生産・開発体制の見直し

- 生産設備のS&B、生産品種のシフトによる最適生産体制の確立
- 開発部門の一元化、ユーザー及び生活者視点の開発体制強化

組織改革による省力化

- 組織と運用のスリム化
- 新規・中途採用を一時中断し、人員再配置により雇用を守る

財務体質の改善

- 資産の売却、棚卸資産の圧縮
- グループファイナンス導入の検討



組織改革による省力化

組織改革による省力化

組織の統廃合

管理スパンの拡大

業務改善・合理化投資

アウトソーシング

企画部門、技術開発部門等の
一体運営

新たなコンピュータシステム導入

自然減不補充と
新規・中途採用の
一時中断により

3年以内に
900名減

最終的な
収益改善額
年間55億円



国内成長戦略の概要

国内成長戦略

福島県いわき市における段ボール原紙マシン新設

- ・ 中芯原紙 および 外装用薄物段ボール原紙を強化
- ・ いわき市の雇用増加、東北復興を支援

静岡県南陵工場における新增設計画⁽¹⁾

- ・ 今後も伸張が見込まれるシルバー商品を強化
- ・ ウェット製品を主体に医薬部外品及び医薬品分野を拡充

注(1) 持分法適用関連会社との商取引は継続



海外成長戦略の概要

海外成長戦略

タイにおけるベビー用紙おむつ事業

- 平成23年12月に営業運転開始。平成25年3月には生産能力を倍増する計画

紙おむつ等加工品の輸出拡大

- 韓国に販売会社エリエール・インターナショナル・코리아設立（平成24年1月）
- 韓国のみならず、ロシアへの加工品輸出も推進

H&PC事業を核とした段ボール事業展開

- H&PC商品に使用する段ボール需要を足掛かりに、アジアでの展開を図る



本資料は今後の事業計画の骨子をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における記載内容・予想につきましては、確約や保証を一切与えるものではありません。

本資料を投資家の皆様にご利用される場合においては、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

